

誇りと謙譲

サージ・カヒリ・キング

「誇りを見せなさい！」「自分自身の為に立ち上がりなさい！」「しゃんとして歩きなさい！」「踏みつけにされてはいけない！」「自分で在ることに誇りを持ちなさい！」「胸をはって頭を高く保ちなさい！」

[少しは謙虚になりなさい！]「頭を下げていなさい！」「人から抜き出てはいけない！」「奢る者は久しからず！」「謙虚さを学びなさい！」「自分を何様だと思っているんだ！」

私が若者として世界に自分の居場所を見つけようとしていた頃、母が一度申しました。「自分のことをあんまり考えてはいけないよ。さもなければ、神様がお前を失望させてしまいますよ。」そう、怖かったです。そして混乱もしました。世界には誇りと謙譲に関して全く相反する宗教、哲学、心理学、そして文化がたくさんあるからです。しばしば同じ宗教、哲学、心理学そして文化の中にさえ。

長い年月、自尊の念を失わずに謙虚である、または謙虚さを失わずに誇りを持っている方法を見つけようとして、私は矛盾する考えの迷路を彷徨いました。私が出会ったほとんどの人たちと同様に、たいてい私は傲慢さと自己卑下の間を行ったり来たりしました。そして遂に、本当は何なのかを見つけました。

古代ギリシャでは、人が侵す最悪の罪は驕りでした。これは傲慢としても知られている誇りの極端な形です。最も深刻な形は神々に等しい、あるいはもっと優れていると考える事でした。ギリシャ神話には人間の驕りが神々の怒りを招いた多くの物語があります。もし人が自分を神々と同等あるいはより優れているとさえ考えるならば、特に司祭、王そして官僚などの神々を代弁する者によって厳しく処罰せられる、真に現実的な危険性として社会的には解釈されます。

結果的にこの考え方が西洋文化一般に根つき、新興宗教の神々や神だけではなく、貴族と平民、金持ちと貧乏人などの発展した階級制度にも敷衍しました。それで、社会からより高い社会、経済的地位にあると認められる“より優れた”存在と等しいとか、より優れていると自分の事を思うのは驕りだったのです。

まるでそれでは十分悪くないかの様に、この問題は流行遅れで辞書の意味がとても矛盾している誇りという言葉に置き換わった、「驕り」という言葉によって悪化しました。遂に今日、誇りを持つのは良くもあり悪くもあり、謙虚であるのは良くもあり悪くもあるという事態になっています。この判じ物から抜け出る方法があるのでしょうか？

少し違った角度から考えるならば、あります。第一に、真の誇りと偽りの誇りを識別し、それから真の謙虚さと偽りの謙虚さを識別する必要があります。真の誇りは、自分がどの様な人間で何をすることが出来るのかを、他からの承認や賛同を求めず、認識し尊び

ます。偽りの誇りとは、自分がどのような人間と信じているより、自分が知っていると言っている以上に知っている、と主張することです。この種の誇りはほぼ常に、弱点と内心では感じていることを覆い隠す為に、他からの認証と賛同を必要とします。他からの認証や賛同がいけないと言っているのではないのは承知してください。それなしでは自尊心を感じられないという偽りの誇りの尺度としてだけです。偽りの誇りのもう一つの側面は傲慢です。技術で測ることが出来ない方法なのに他に秀でている振りをします。ある特定の技術では他より秀でていることがあっても、技術のレベルゆえに人間として上の種にいる振りや認識を他に強要するのは全く別なことです。気づいたと思いますが、私は“振り”と言い続けています。なぜなら、彼または彼女が優れていると他から認められる必要があるならば、例え優秀さを上手く演じて、振りをしているにすぎません。真の誇りを持っている人は、優れた人かもしれませんが、そうでないかもしれません。しかし、それはどちらでもかまわないのです。

真の謙虚さは自分がどのような人間で、何が出来るのかを他からの承認や賛同を求めず、自分で認識して尊ぶことです。偽りの謙虚さは、自分がどのような人間と信じているよりも卑下して主張します。この類の謙虚さはほぼ常に、傲慢を内心で感じているのを覆い隠す為に、他からの承認と賛同を必要とします。謙虚な振りをする人は、自分がどれ程謙虚であるかを他の人に説得する必要があります。時折それは、どんな誇りもいけないことだと信じているからです。そして時々本質的に傲慢な人は、謙虚な振りをして他の人を無防備にし、操作します。真に謙虚な人は自分がどれ程謙虚なのかを他の人に知ってもらう必要がありませんし、他の人が知るのを恐れもしません。真に謙虚な人は誰に対しても、優れているとか劣っていると感ぜません。

これら全てのことから何を得られるでしょうか？とても簡単な考え方、つまり真の誇りは真の謙虚さと全く同じである、ということです。

翻訳 M. Hayashi (2005)

Copyright 2005 Aloha International